

平成 22 年度
産業廃棄物実績報告書入力集計等業務報告書
(平成 21 年度実績調査)

平成 22 年 3 月

岩 手 県

目 次

第 1 章 調査の概要-----	1
1.1 調査業務の目的-----	1
1.2 調査の内容-----	1
1.3 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理-----	2
第 2 章 調査結果の概要-----	6
2.1 平成 21 年度の産業廃棄物の排出量-----	6
2.2 平成 21 年度の産業廃棄物の処理状況-----	10
2.3 岩手県産業廃棄物排出・処理管理システムの作成結果-----	13
第 3 章 産業廃棄物処理業者の実績-----	16
第 4 章 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績-----	19
第 5 章 産業廃棄物の排出・処理状況の結果-----	21
第 6 章 産業廃棄物の将来予測-----	24
統計表 1 業種別・種類別の排出量-----	29
統計表 2 種類別の発生及び処理量-----	30
参考資料（調査に関する基本的事項）-----	32

第1章 調査の概要

1.1 調査業務の目的

本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）に基づき、産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出される産業廃棄物処理実績報告書等の入力及び集計並びに県内全体の産業廃棄物の排出量や処理量等の解析及び推計を行い、県内における産業廃棄物の処理量等の統計資料を得ることにより、産業廃棄物の適正処理に資することを目的とした。

1.2 調査の内容

1)産業廃棄物処理実績報告書等及び多量・準多量排出事業者処理計画実施状況報告書の入力

(1)産業廃棄物処理実績報告書等の入力

産業廃棄物実態調査等システムに、次の産業廃棄物処理実績報告書等に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

- ・産業廃棄物処理実績報告書（様式第23号）
- ・特別管理産業廃棄物処理実績報告書（様式24号）
- ・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の運搬実績報告書（様式25号）
- ・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処分実績報告書（様式26号）

(2)多量排出事業者処理計画実施状況報告書の入力

産業廃棄物実態調査等システムに、（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書（様式第2号の3、様式第2号の5）に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

(3)準多量排出事業者処理計画実施状況報告書の入力

産業廃棄物実態調査等システムに、（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書（様式第3号）に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

(4)多量・準多量排出事業所処理計画書の入力

産業廃棄物実態調査等システムとは別に、（特別管理）産業廃棄物処理計画書（様式第2号の2、様式第2号の4、様式第1号）に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

2)県内の産業廃棄物発生量等の解析及び推計値の算出

(1)、(2)、(3)の情報を基に産業廃棄物の排出量や処理量等の算出を行った。

3)環境省が実施する調査に係る各種調査票の作成

環境省で実施する産業廃棄物の広域移動量調査、産業廃棄物行政組織等調査、産業廃棄物排出・処理状況調査、感染性産業廃棄物の中間処理業者の処理実績、温室効果ガスに係る調査票を作成した。

4)「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」の作成

1)のデータを基に、各種の分析等がシステム上で行えるよう分析ツール(岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム)の作成を行った。

1.3 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1)産業廃棄物処理業者の報告書の整備

(1)物流情報の整理

平成 21 年度実績として産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報は、廃棄物の種類、量、委託者(排出事業者)及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等の整備を行い、更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1.1 に示す物流コードに基づき整理した。

なお、委託者の排出事業者と業者(中間処理残さ物を委託)の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングを行った。

表 1.1 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ		処分区分	物流コード(委託者)			備考
				事業者	業者	自社	
処分業 の報告	県内	県内	中間	A	ア	サ	
	県内	県内	最終	B	イ	シ	
	県外	県内	中間	C	ウ		
	県外	県内	最終	D	エ		
収集運 搬業の 報告	県内	県外	中間	E	カ	ソ	
	県内	県外	最終	F	キ	タ	
	県内	県内	中間	Q	R		
	県内	県内	最終	S	T		
	県外	県内	中間	U	V		
	県外	県内	最終	W	X		

(2)排出事業者の産業分類(業種)の整備

(1)の物流情報で整理した事業者(産業廃棄物排出事業者)及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整理した。

2)事業者の報告書の整備

平成 21 年度の実績として、多量排出事業者及び準多量排出事業者からの実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量等の整備を行った。

また、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、廃棄物処理法で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、事業系一般廃棄物として除外した。

3) 産業廃棄物の排出・処理量の推計

産業廃棄物の発生及び処理は、排出事業者から発生し、自社処理と委託処理で構成される。

委託処理

産業廃棄物処理業者の受託処理実績から把握した。

自社処理

自社で完結（委託に回らない）する処理は、売却又は自社利用、自社での脱水、焼却処理等による減量、自社埋立である。これらの処理を有する事業者の大部分（量的カバー）は、産業廃棄物の多量排出事業者であると仮定し、多量排出事業者及び準多量排出事業者から報告データで把握した。

なお、及び の情報から把握できない要因を整理し、捕捉調査を実施した。

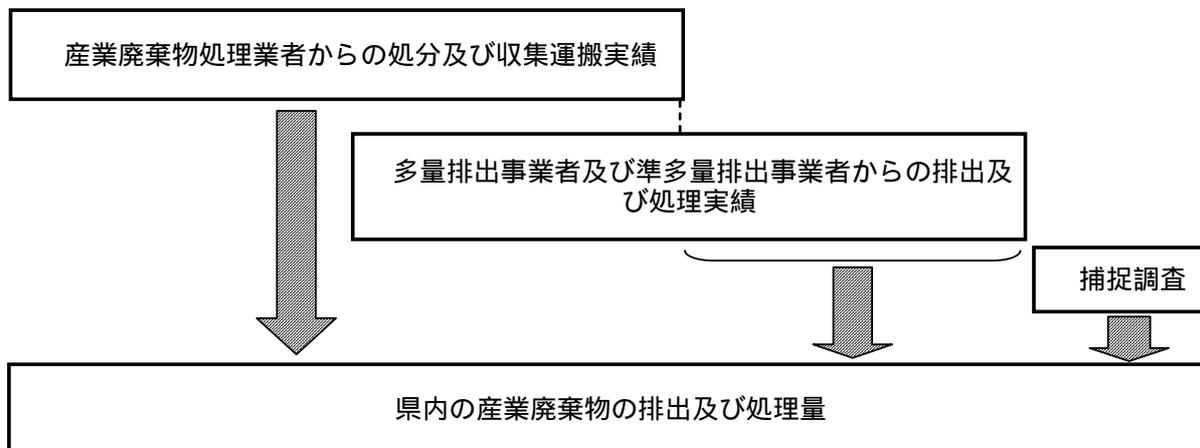


図 1.1 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

(1)産業廃棄物処理業者からの処分及び収集運搬実績

排出事業者より排出された産業廃棄物のうち、県内又は県外の間接処理又は最終処分業者で処理された産業廃棄物について、委託者（排出事業者）を整理し、処理フローを把握した。

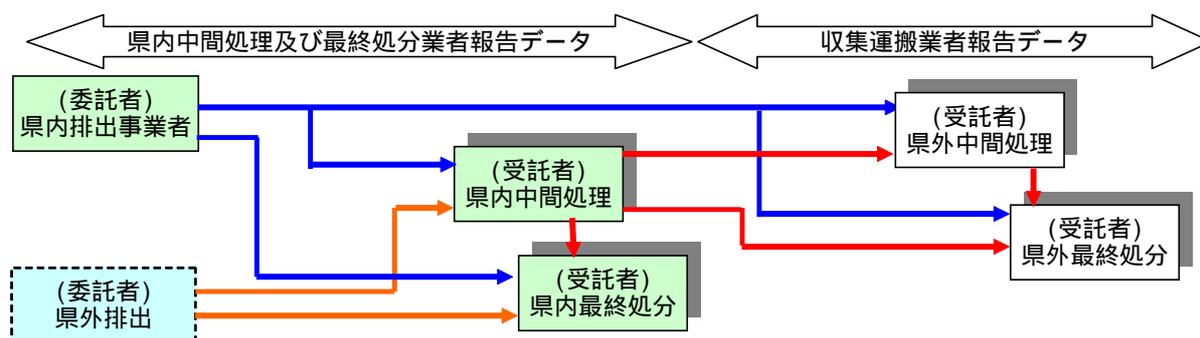


図 1.2 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

(2) 排出事業者からの排出及び処理実績

廃棄物処理法に基づく多量排出事業者実施報告に基づく排出事業者の実績報告より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量について、処理フローを把握した。

(3) 捕捉調査

(1)、(2)の情報から十分に把握できない、脱水等による自己中間処理量（自己減量化量）については、既存資料により補完した。

第2章 調査結果の概要

2.1 平成21年度の産業廃棄物の排出量

平成21年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の排出量は2,026千トンとなっており、種類別にみると、汚泥が832千トン(41%)で最も多く、次いで、がれき類が814千トン(40%)となっており、この2種類で全体の81%を占めている。(図2.1)

業種別にみると、建設業が928千トン(46%)で最も多く、以下、電気・水道業が502千トン(25%)、製造業が356千トン(18%)となっており、この3業種で全体の89%を占めている。(図2.2)

排出量を種類別、業種別にみると表2.1のとおりである。

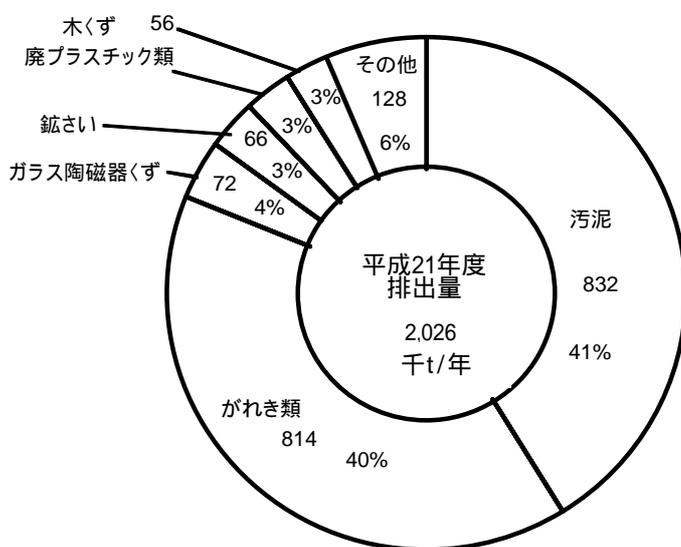


図 2.1 産業廃棄物の種類別の排出量

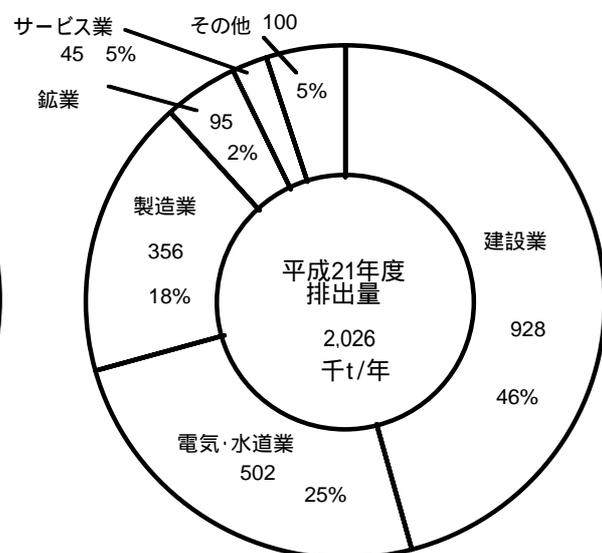


図 2.2 産業廃棄物の業種別の排出量

表 2.1 産業廃棄物の種類別、業種別の排出量（平成 21 年度）

（単位：千t/年）

業種 種類	業種													
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	2,026 (100%)	95 (5%)	928 (46%)	356 (18%)	502 (25%)	0 (0%)	2 (0%)	19 (1%)	1 (0%)	14 (1%)	1 (0%)	4 (0%)	45 (2%)	59 (3%)
燃え殻	10 (0%)		0	8				0	0	0		0	1	0
汚泥	832 (41%)	95	10	160	496	0	0	5	0	0	1	2	11	52
廃油	13 (1%)		1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
廃酸	22 (1%)		0	10	0	0	0	0		6	0	0	6	0
廃アルカリ	12 (1%)		0	8	0	0	0	0		0	0	0	1	2
廃プラスチック類	57 (3%)	0	15	13	0	0	0	12	0	3	0	1	12	1
紙くず	2 (0%)		2	0										
木くず	56 (3%)		56	0										
繊維くず	1 (0%)		1											
動植物性残さ	12 (1%)			12										
動物系固形不要物	10 (0%)			10										
ゴムくず	0 (0%)		0										0	
金属くず	8 (0%)		5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ガラス陶磁器くず	72 (4%)		23	34	4	0	2	1	0	2	0	0	6	0
鉱さい	66 (3%)		0	66									0	
がれき類	814 (40%)		814											
ばいじん	25 (1%)		0	25										0
動物の死体	5 (0%)			0								0	2	3
その他	9 (0%)		3	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0

〔参考〕 産業廃棄物の種類別、業種別の排出量（平成 20 年度）

（単位：千t/年）

業種 種類	業種													
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	2,035 (100%)	97 (5%)	943 (46%)	389 (19%)	435 (21%)	0 (0%)	1 (0%)	24 (1%)	1 (0%)	13 (1%)	0 (0%)	5 (0%)	64 (3%)	62 (3%)
燃え殻	11 (1%)		1	9	0			0	0	0		0	1	0
汚泥	762 (37%)	97	7	169	425		0	2	1	0	0	3	16	42
廃油	17 (1%)	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
廃酸	28 (1%)		0	13	0	0	0	0		7	0	0	6	0
廃アルカリ	15 (1%)		0	9	0	0	0	0		0	0	0	1	5
廃プラスチック類	76 (4%)	0	22	11	1	0	1	18	0	2	0	1	19	1
紙くず	2 (0%)		2	1										
木くず	54 (3%)		54	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	11 (1%)			11										
動物系固形不要物	10 (1%)			0										10
ゴムくず	0 (0%)		0	0									0	
金属くず	16 (1%)		8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
ガラス陶磁器くず	81 (4%)		23	38	8		1	3	0	1	0	0	8	0
鉱さい	87 (4%)		0	87									0	
がれき類	822 (40%)		822											
ばいじん	26 (1%)		0	25	1									
動物のふん尿														
動物の死体	5 (0%)			0									2	3
その他	10 (0%)		3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0

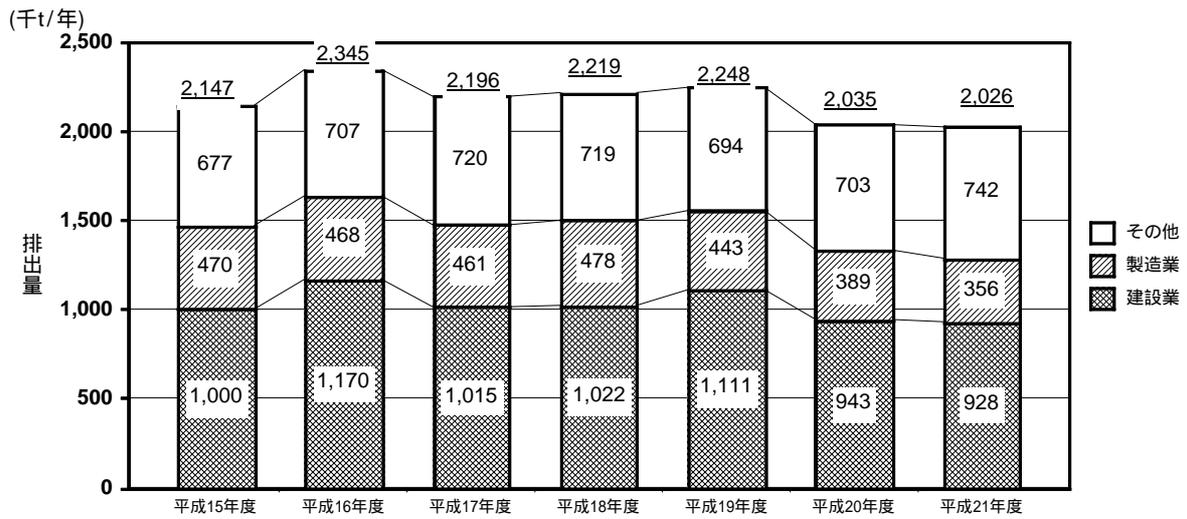


図 2.3 排出量（種類別）の推移

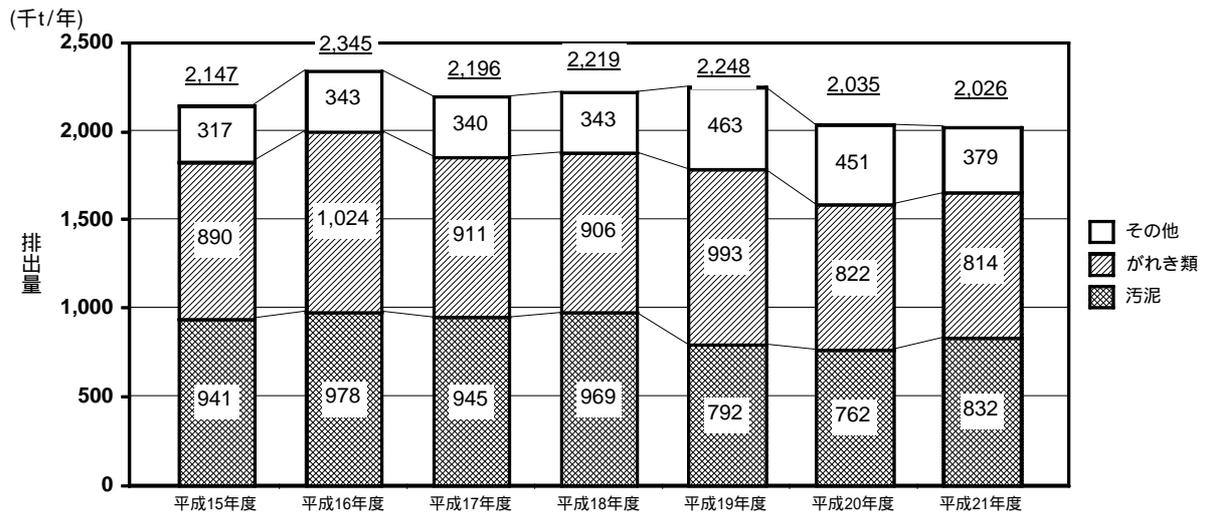


図 2.4 排出量（業種別）の推移

排出量を地域別にみると、盛岡地域が 654 千トン（32%）で最も多く、次いで、岩手中部地域が 356 千トン（18%）、気仙地域が 200 千トン（10%）、胆江地域が 189 千トン（9%）、両磐地域が 183 千トン（9%）、釜石地域が 137 千トン（7%）、宮古地域が 123 千トン（6%）、二戸地域が 115 千トン（6%）、久慈地域が 69 千トン（3%）となっている。（表 2.2、図 2.5）

なお、4 地域区分(広域)でみると表 2.3 のとおりである。

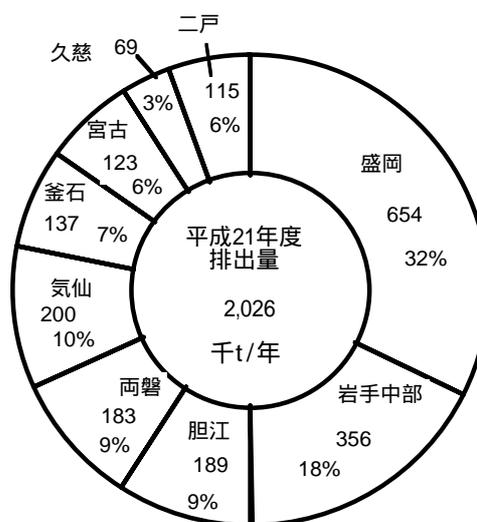


図 2.5 地域別の排出量

表 2.2 産業廃棄物の地域別の排出量（平成 21 年度）

(単位:千t/年)

業種	盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	合計
鉱業	2	10	0	0	80	2	0	0	0	95
建設業	311	134	114	95	63	57	67	45	41	928
製造業	58	148	29	52	22	35	4	4	4	356
電気・水道業	255	45	35	24	29	39	46	18	11	502
その他の業種	27	19	11	12	6	4	6	2	58	145
合計	654 (32%)	356 (18%)	189 (9%)	183 (9%)	200 (10%)	137 (7%)	123 (6%)	69 (3%)	115 (6%)	2,026 (100%)

表 2.3 産業廃棄物の広域別の排出量（平成 21 年度）

(単位:千t/年)

業種	盛岡広域	県南広域	沿岸広域	県北広域	合計
鉱業	2	10	83	0	95
建設業	311	343	187	87	928
製造業	58	228	61	9	356
電気・水道業	255	104	114	29	502
その他の業種	27	42	16	60	145
合計	654 (32%)	728 (36%)	460 (23%)	184 (9%)	2,026 (100%)

2.2 平成 21 年度の産業廃棄物の処理状況

平成 21 年度における産業廃棄物の処理状況をみると、排出量 2,026 千トンのうち、96%に当たる 1,940 千トンが中間処理量となっている。この中間処理により 746 千トン（37%）が減量されている。

再生利用量は、排出量の 60%に当たる 1,216 千トン、最終処分量は 64 千トンで、排出量の 3%となっている。（図 2.6）

種類別の処理状況は、図 2.7 のとおりである。

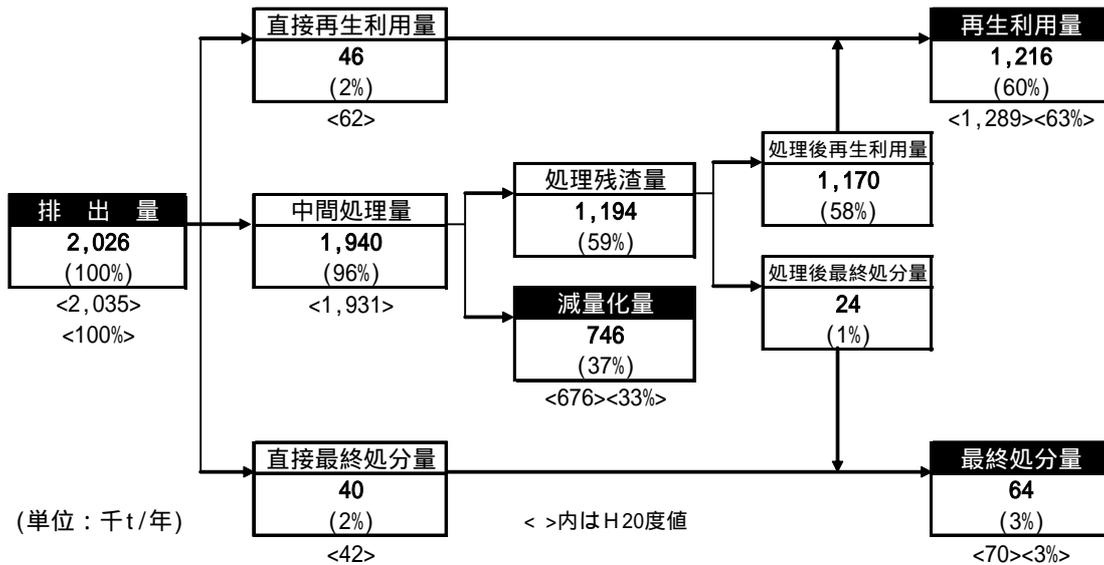


図 2.6 平成 21 年度の産業廃棄物の処理状況

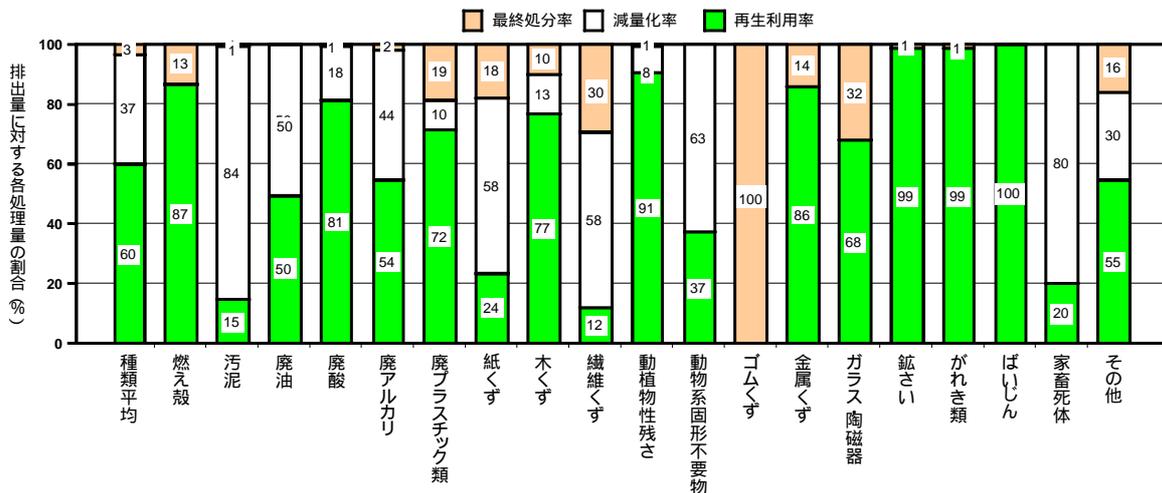


図 2.7 平成 21 年度の産業廃棄物の種類別の処理状況

(千t/年)

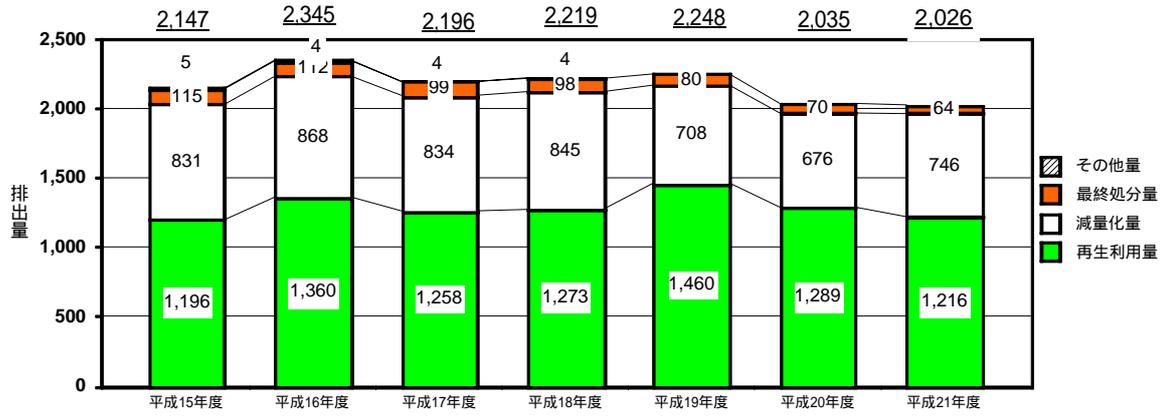
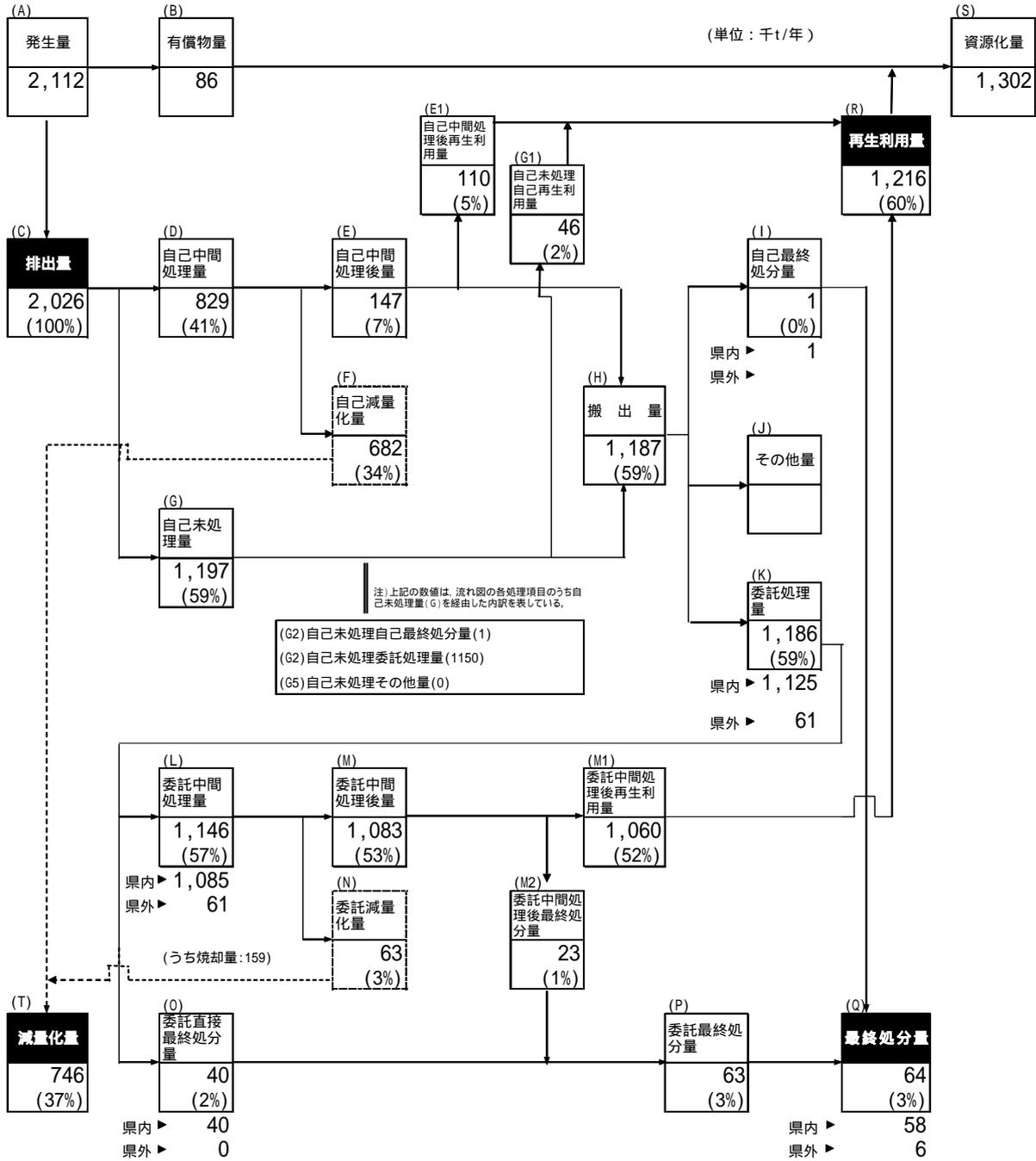


図 2.8 処理量の推移

平成 21 年度における産業廃棄物の処理状況を詳細にみると、図 2.9 のとおりである。



2.3 岩手県産業廃棄物排出・処理管理システムの作成結果

平成 21 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ等を基に、「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」に情報登録し、岩手県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、図 2.10、図 2.11 のとおりである。

年次：2009

× 1,000 ト

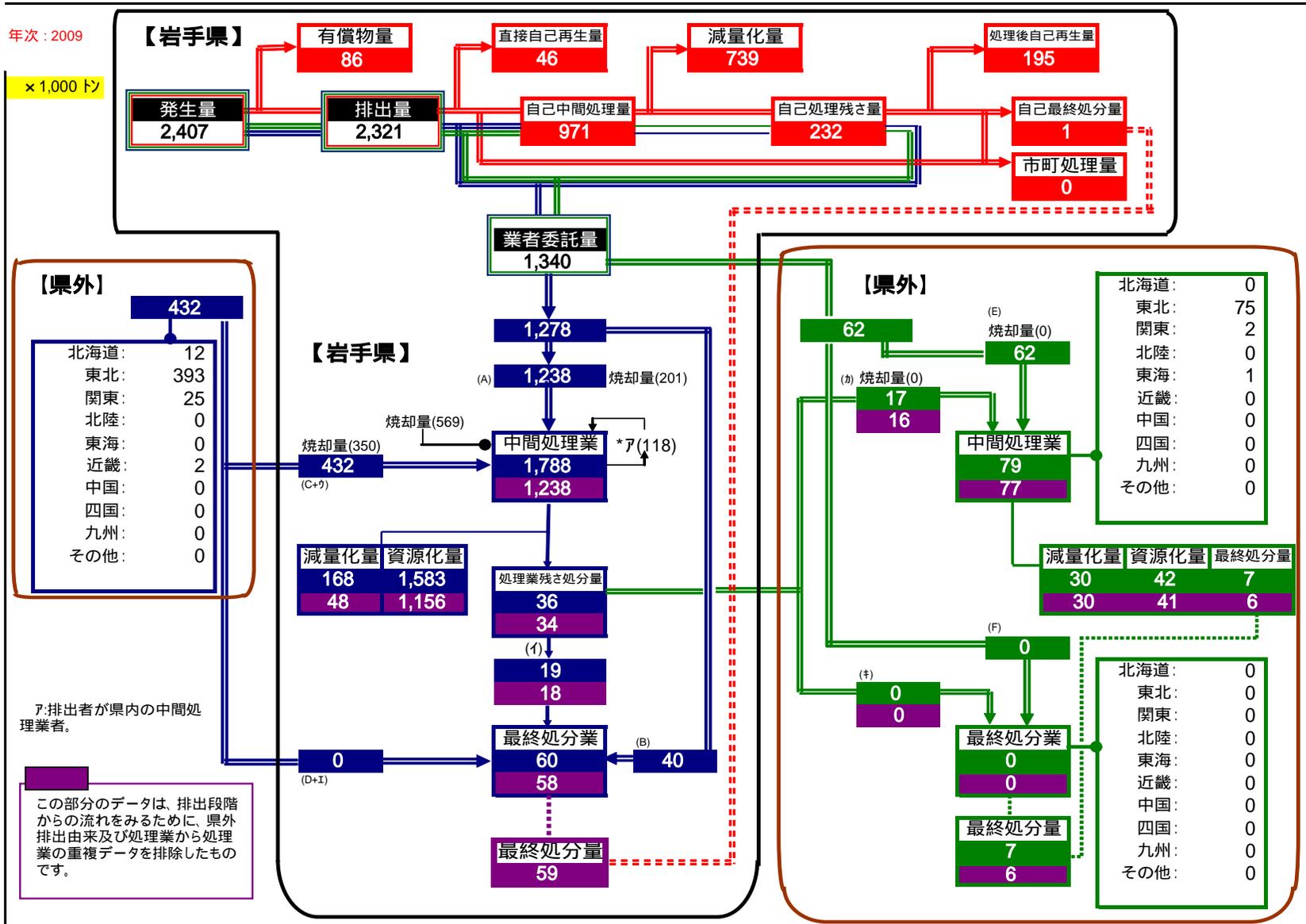


図 2.10 「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」(メインフロー) < 事業系一般廃棄物を含む登録されたすべての廃棄物情報 >

年次：2009

× 1,000 トン

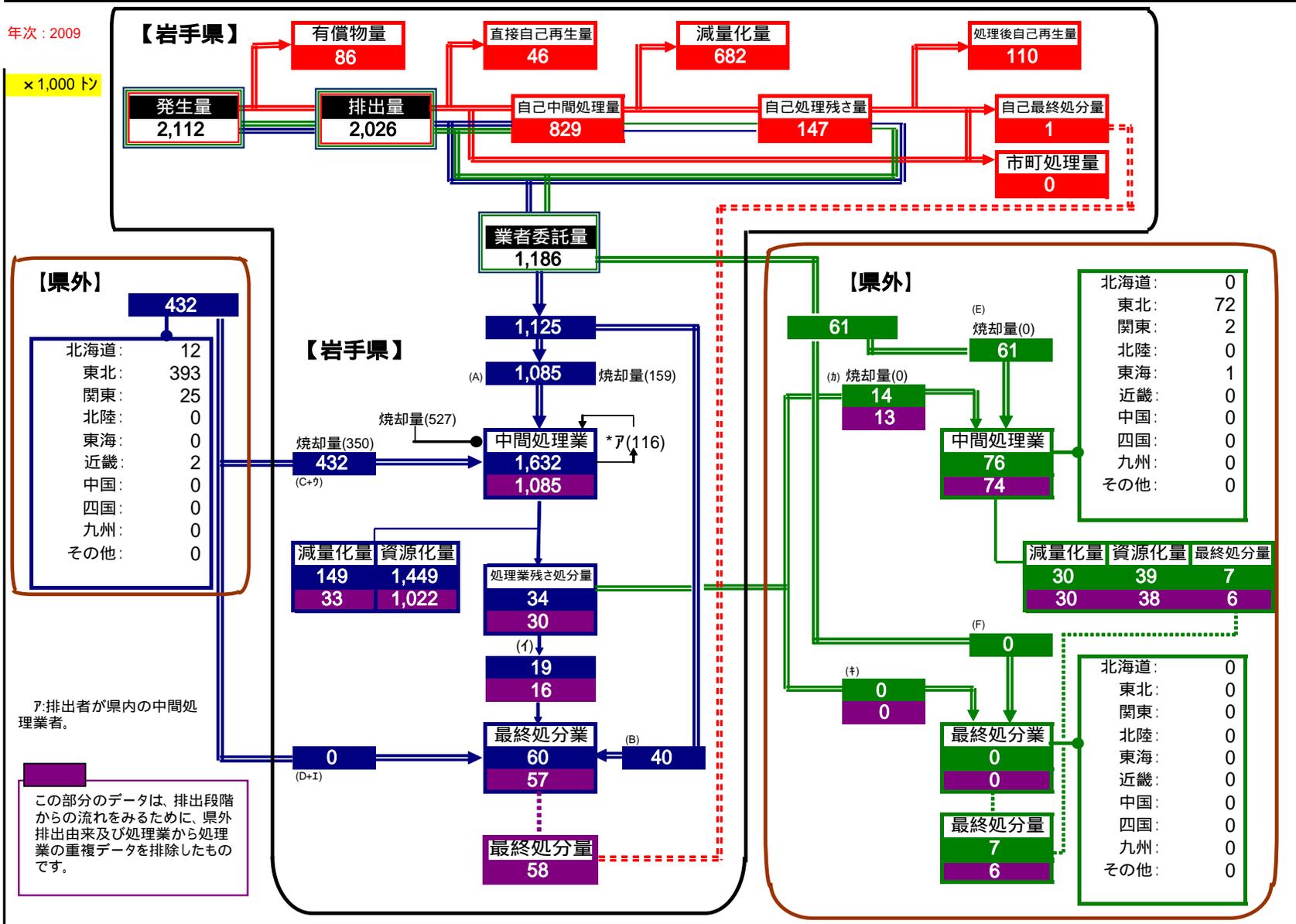


図 2.11 「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」(産業廃棄物フロー) <事業系一般廃棄物を除く>

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

平成21年度における県内での中間処理量は1,788千トンとなっており、このうち1,356千トンが県内の排出事業者等から搬入され、432千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は60千トンで、このうち60千トンが県内の排出事業者等から搬入されている。

県外へ搬入された産業廃棄物は79千トンで、このうち中間処理が79千トン、最終処分が0.0千トンとなっている。

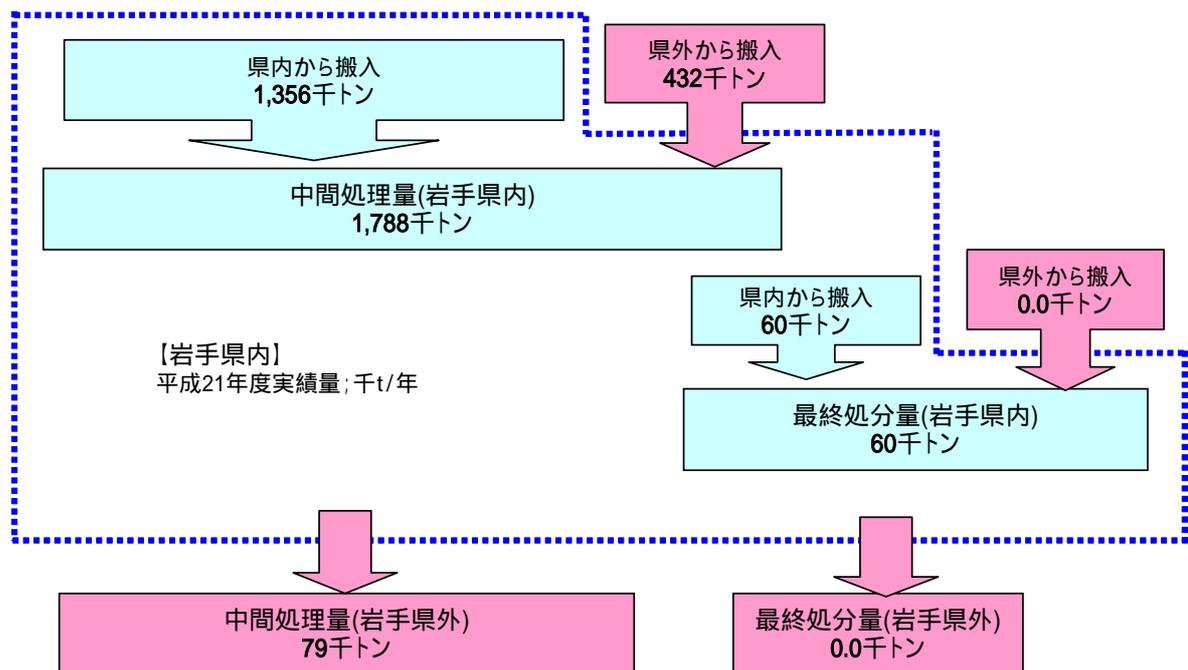


図 3.1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

種類別の処理状況を見ると表 3.1、図 3.2～図 3.4 のとおりである。

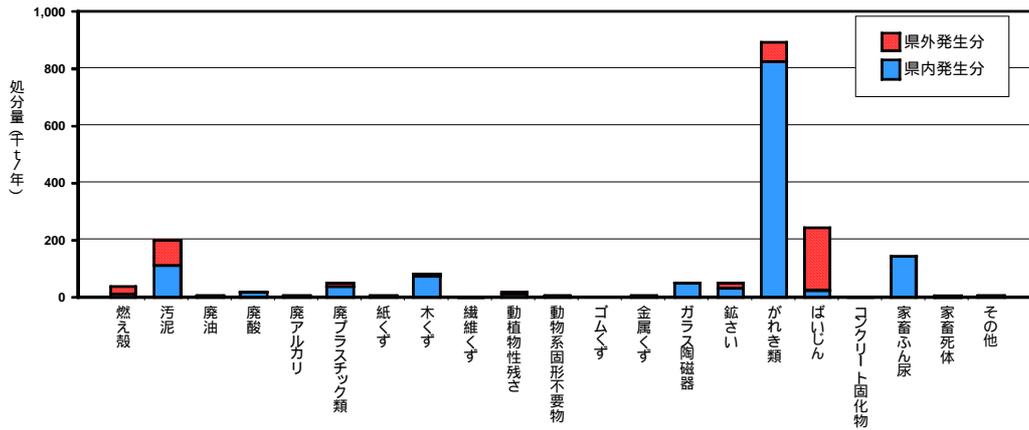


図 3.2 県内の中間処理業者の処分実績

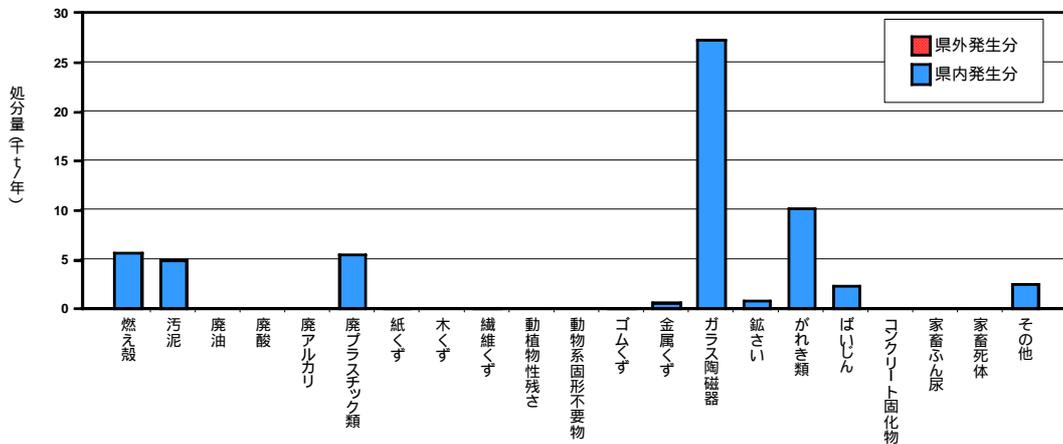


図 3.3 県内の最終処分業者の処分実績

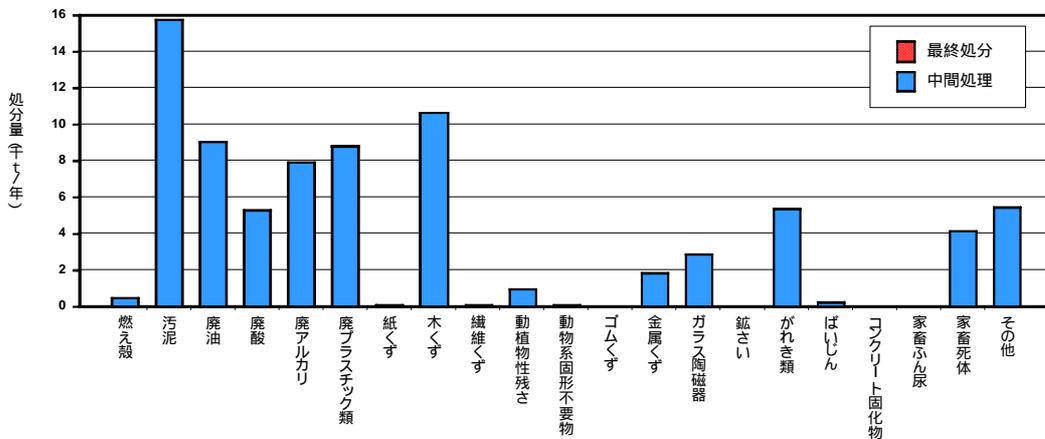


図 3.4 県外へ搬出された処分実績（収集運搬実績より）

表 3.1 産業廃棄物収集運搬、処分実績報告データの単純集計

年次:2009		【業者L1】																			(単位: t/年)							
処理・処分処分 種類(無変換)	物流計	県内での処分実績													県外への搬出													
		中間処理業						最終処分業							中間処理					最終処分								
		計	うち焼却量	中間処理		計	計に含まれない(自社分)	最終処分業		計	計に含まれない(自社分)	中間処理			最終処分													
				県内発生排出事業者からの直送	県内発生処理業者からの残さ			県外搬入	県内発生排出事業者からの直送			県内発生処理業者からの残さ	県外搬入	計	うち焼却量	県内発生排出事業者からの直送	県内発生処理業者からの残さ	県外搬入	計	県内発生排出事業者からの直送	県内発生処理業者からの残さ							
処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む			処分残渣		資源化		減量化		処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む			処分残渣		資源化		減量化												
			(A)	(F)	(C+I)			(サ)			(B)	(イ)	(D+I)	(シ)				(E)	(カ)			(F)	(キ)					
合計	1,925,853 (100.0%)	1,787,513 (92.8%)	568,929 (29.5%)	1,237,617 (64.3%)	118,129 (6.1%)	431,766 (22.4%)	23,467 (1.2%)	1,706,985 (88.6%)	57,061 (3.0%)	41,794 (2.2%)	59,546 (3.1%)	40,274 (2.1%)	19,272 (1.0%)		14 (0.0%)	78,794 (4.1%)	78,777 (4.1%)	13 (0.0%)	61,694 (3.2%)	17,083 (0.9%)	6,626 (0.3%)	41,960 (2.2%)	30,191 (1.6%)	17 (0.0%)	11 (0.0%)	6 (0.0%)		
燃え殻	44,080	38,063	38,063	8,637		29,426		38,063			5,562	1,312	4,251			455	455		32	423	442	12						
汚泥	220,504	199,869	165,319	100,977	11,146	87,746	1,505	180,807	17,557		4,848	4,602	246			15,787	15,787	2	15,280	507	1,244	5,689	8,854					
有機性汚泥	36,132	32,282	7,652	32,180	102		116	23,206			90	90				3,760	3,760		3,558	202	84	2,533						
無機性汚泥	99,022	82,238	72,475	68,798	11,043	2,396	1,389	72,254			4,757	4,511	246			12,027	12,027	2	11,722	305	1,160	3,155						
識別不明	85,350	85,350	85,191			85,350	1	85,347																				
廃油	14,434	5,389	1,819	4,047	56	1,286	8	4,624								9,046	9,046	0	8,721	325	24	3,203						
廃酸	23,009	17,743	375	16,505	0	1,238	235	17,266								5,266	5,266		5,227	39	35	1,482						
廃アルカリ	12,595	4,695	3,884	3,674	537	484	411	3,627								7,900	7,900		7,857	44	9	3,488						
廃プラスチック類	59,721	45,537	30,439	34,767	3,312	7,458	6,004	33,228			5,379	3,879	1,500			8,804	8,795	4	6,934	1,861	1,411	5,206		9	3	6		
紙くず	3,253	3,118	2,111	2,733	352	33	507	834			52		52			83	83		41	42	59	21						
木くず	92,170	81,535	12,634	65,424	11,086	5,024	7,767	60,136								10,636	10,636		1,211	9,424	222	10,308						
繊維くず	1,060	981	844	665	271	45	215	172			60		60			20	20		7	12	11	9						
動植物性残渣	15,043	14,078	770	12,581	0	1,497	98	12,675								965	965		965		27	905						
動物系固形不要物	1,286	1,235	582	487	582	167		647								51	51			51		51						
ゴムくず	7										7	7																
金属くず	7,793	5,406	30	4,837	427	142	503	4,903			604	590	14			1,782	1,782	8	1,701	81	41	1,726						
ガラス陶磁器くず	79,596	49,516	328	47,987	1,120	409	2,538	46,977			27,219	20,550	6,669			2,861	2,856		889	1,967	1,833	1,022		5	5			
鉱さい	48,879	48,021	33,614	31,649	653	15,719		48,021			858	605	253															
がれき類	905,718	890,146	4	735,438	86,760	67,948	3,193	886,953		41,699	10,222	8,498	1,724		14	5,350	5,347		3,432	1,916	466	4,881		3	3			
ばいじん	241,740	239,177	239,177	26,768		212,409		239,177			2,304	8	2,296			259	259		3	256	82	178						
コンクリート固化物	151	151	151		151			151																				
家畜ふん尿	140,164	140,164	37,622	138,493	1,671			128,562																				
家畜死体	5,271	1,138		449		689		114								4,133	4,133		4,133			827						
その他	9,380	1,552	1,164	1,499	6	47	483	48	1,021	95	2,431	222	2,208			5,397	5,397		5,263	134	719	2,954	1,724					
感染性廃棄物	2,831	1,164	1,164	1,164	0		143									1,667	1,667		1,667		14	291						
混合廃棄物	4,822	341		336	6		340	2			2,431	222	2,208			2,050	2,050		1,918	133	491	1,207						
その他	1,726	47				47		47								1,680	1,680		1,678	1	214	1,455						

第4章 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績

平成21年度における多量・準多量排出事業者からの実施報告に基づく排出事業者からの実績報告は表4.1、表4.2のとおりである。

表4.1 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績（種類別）

		【多量L1】									(単位：t/年)
種類	処理・処分処分	目標		実施状況							
	排出量	排出量	直接再生利用量	直接最終処分量	自社処理				委託処理量		
					中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理後の自己利用・売却量		中間処理後の自己最終処分量	
合計	684,913	756,773 (100.0%)	39,077 (5.2%)	1,013 (0.1%)	340,513 (45.0%)	143,052 (18.9%)	197,461 (26.1%)	184,783 (24.4%)	391,610 (51.7%)		
燃え殻	5,934	5,210							5,218		
汚泥	116,686	111,025	177	186	95,703	80,579	15,124	5,862	24,222		
有機性汚泥	100,039	95,017	128	186	89,081	75,281	13,800	5,862	13,560		
無機性汚泥	16,647	16,008	49		6,622	5,298	1,324		10,661		
廃油	8,410	7,612	46		278	251	27		7,316		
廃酸	5,033	4,343	503						3,840		
廃アルカリ	4,628	4,431							4,431		
廃プラスチック類	6,623	10,209	2,165	93	2,269	27	2,242	2,227	8,181		
紙くず	593	437			3		3	3	434		
木くず	14,628	26,325	170	1	4,001		4,001	2,441	23,713		
繊維くず	189	180			4		4	4	176		
動植物性残さ	3,669	3,570							3,570		
動物系固形不要物	9,900	9,277			9,242	5,648	3,594	3,594	35		
ゴムくず		0							0		
金属くず	4,021	4,834	628	1	234		234	234	4,241		
ガラス・陶磁器くず	25,839	27,077	1,487	23	2,707		2,707	893	24,674		
鋳さい	79,305	59,341	33,701	388					25,252		
がれき類	194,242	282,334		322	82,495		82,495	82,495	199,517		
ばいじん	31,463	34,252							34,252		
コンクリート固化物											
動物のふん尿	167,101	158,915	200		141,209	56,321	84,888	84,888	17,506		
動物の死体	560	367			367	227	140	140			
その他	6,091	7,035			2,003		2,003	2,003	5,032		
感染性廃棄物	466	531							531		
混合廃棄物											
その他	5,625	6,504			2,003		2,003	2,003	4,501		

表 4.2 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績（業種別）

		【多量L2】									(単位：t/年)
業種	処理・処分	目標		実施状況							
		排出量	自社処理							委託処理量	
			排出量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量		中間処理 後の自己 最終処 分量
合計		684,913	756,773 (100.0%)	39,077 (5.2%)	1,013 (0.1%)	340,513 (45.0%)	143,052 (18.9%)	197,461 (26.1%)	184,783 (24.4%)		391,610 (51.7%)
農林業		167,698	159,765	200		141,576	56,548	85,028	85,028		17,989
農業		167,698	159,765	200		141,576	56,548	85,028	85,028		17,989
林業											
漁業											
鉱業											
建設業		225,388	325,610	527	439	88,716		88,716	87,156		237,758
製造業		251,305	221,916	38,029	574	77,310	57,900	19,409	12,449		115,455
食料品		33,749	30,075			26,012	21,435	4,577	3,677		4,971
飲料・飼料		2,245	1,971								1,971
繊維											
衣服											
木材											
家具											
パルプ・紙		47,157	39,638	2,300	186	37,970	26,678	11,292	7,944		5,013
出版・印刷											
化学		13,331	13,381	39		4,763	4,489	274			8,853
石油・石炭											
プラスチック											
ゴム											
皮革											
窯業・土石		22,033	26,421	1,487		8,565	5,298	3,267	828		18,808
鉄鋼		34,926	32,191								32,191
非鉄金属											
金属		3,433	2,892								2,892
一般機器											
電気機器		4,947	4,192	503							3,690
情報通信機器											
電子部品		7,484	7,381								7,381
輸送機器		81,955	61,079	33,701	388						26,990
精密機器		45	68								68
その他製造業			2,627								2,627
電気・ガス・水道業		32,079	40,342			32,035	28,591	3,443			11,751
電気業		4,462	4,590								4,590
ガス業											
熱供給業											
上水道業		700	7,171			7,171	6,454	717			717
工業用水道業											
下水道業		26,917	28,581			24,864	22,137	2,726			6,444
情報通信業		3,558	3,038								3,038
運輸業											
卸・小売業											
金融・保険業											
不動産業											
飲食店・宿泊業											
医療・福祉業		467	532								532
教育・学習支援業											
複合サービス業											
サービス業		4,419	5,571	320		877	13	864	151		5,087
公務											
その他											

第5章 産業廃棄物の排出・処理状況の結果

(1)排出量

平成21年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の排出量は2,026千トンとなっており、種類別にみると、汚泥が832千トン(41%)で最も多く、次いで、がれき類が814千トン(40%)となっており、この2種類で全体の81%を占めている。(図5.1)

排出量を種類別、業種別にみると表5.1のとおりである。

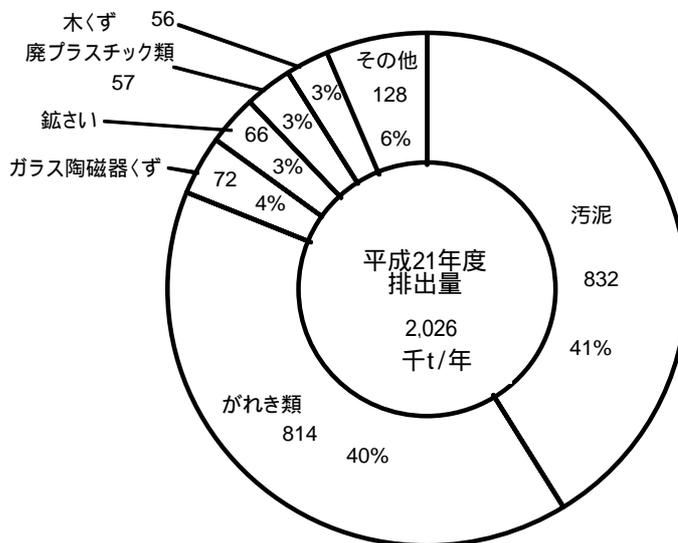


図5.1 産業廃棄物の種類別の排出量

表5.1 産業廃棄物の種類別、業種別の排出量

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	2,026 (100%)	95 (5%)	928 (46%)	356 (18%)	502 (25%)	0 (0%)	2 (0%)	19 (1%)	1 (0%)	14 (1%)	1 (0%)	4 (0%)	45 (2%)	59 (3%)
燃え殻	10 (0%)		0	8				0	0	0		0	1	0
汚泥	832 (41%)	95	10	160	496	0	0	5	0	0	1	2	11	52
廃油	13 (1%)		1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
廃酸	22 (1%)		0	10	0	0	0	0		6	0	0	6	0
廃アルカリ	12 (1%)		0	8	0	0	0	0		0	0	0	1	2
廃プラスチック類	57 (3%)	0	15	13	0	0	0	12	0	3	0	1	12	1
紙くず	2 (0%)		2	0										
木くず	56 (3%)		56	0										
繊維くず	1 (0%)		1											
動植物性残さ	12 (1%)			12										
動物系固形不要物	10 (0%)			10										
ゴムくず	0 (0%)		0										0	
金属くず	8 (0%)		5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ガラス陶磁器くず	72 (4%)		23	34	4	0	2	1	0	2	0	0	6	0
鉱さい	66 (3%)		0	66									0	
がれき類	814 (40%)		814											
ばいじん	25 (1%)		0	25									0	
動物の死体	5 (0%)			0								0	2	3
その他	9 (0%)		3	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0

(2)再生利用量

平成21年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の再生利用量は1,216千トンとなっており、種類別にみると、がれき類が803千トン(66%)で最も多く、次いで、汚泥が121千トン(10%)、以下、鉱さいが65千トン(5%)、ガラス陶磁器くず49千トン(4%)、木くず43千トン(4%)、廃プラスチック類が41千トン(3%)等となっている。(図5.2)

再生利用量を種類別、業種別にみると表5.2のとおりである。

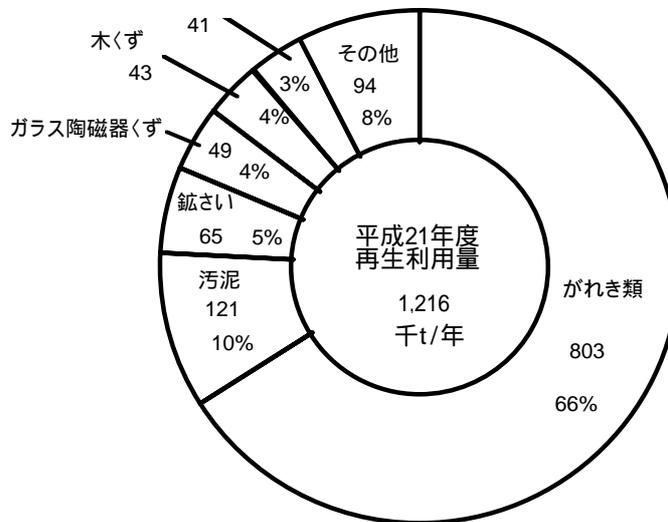


図5.2 産業廃棄物の種類別の再生利用量

表5.2 産業廃棄物の種類別、業種別の再生利用量

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	業種												
		鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	1,216 (100%)	27 (2%)	871 (72%)	195 (16%)	18 (1%)	0 (0%)	2 (0%)	14 (1%)	0 (0%)	9 (1%)	0 (0%)	2 (0%)	28 (2%)	50 (4%)
燃え殻	9 (1%)			8				0				0	1	0
汚泥	121 (10%)	27	4	27	11	0	0	2	0	0	0	1	4	45
廃油	6 (1%)		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
廃酸	18 (1%)		0	6		0		0		6		0	6	0
廃アルカリ	6 (1%)		0	3	0	0	0	0		0		0	1	2
廃プラスチック類	41 (3%)	0	10	9	0	0	0	11	0	0	0	1	8	1
紙くず	0 (0%)		0	0										
木くず	43 (4%)		43	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	11 (1%)			11										
動物系固形不要物	4 (0%)			4										
ゴムくず														
金属くず	7 (1%)		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ガラス陶磁器くず	49 (4%)		5	32	3	0	2	1	0	2	0	0	3	0
鉱さい	65 (5%)		0	65									0	
がれき類	803 (66%)		803											
ばいじん	27 (2%)			25	2								0	
動物の死体	1 (0%)			0								0	0	1
その他	5 (0%)		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

*種類は、中間処理により変化した種類で集計したもの。

(3)最終処分量

平成 21 年度の 1 年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の最終処分量は 64 千トンとなっており、種類別にみると、ガラス陶磁器くず 23 千トン(36%)で最も多く、次いで、がれき類が 12 千トン(18%)、以下、廃プラスチック類が 10 千トン(15%)、汚泥が 7 千トン(11%)、燃え殻が 5 千トン(7%)等となっている。(図 5.3)

最終処分量を種類別、業種別にみると表 5.3 のとおりである。

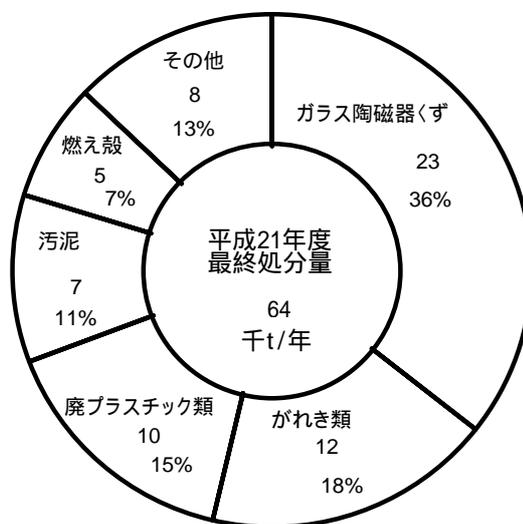


図 5.3 産業廃棄物の種類別の最終処分量

表 5.3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	業種												
		鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	64 (100%)	0 (0%)	44 (69%)	8 (12%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (1%)	7 (11%)	1 (2%)
燃え殻	5 (7%)		2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
汚泥	7 (11%)		2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	10 (15%)	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
紙くず	0 (0%)		0											
木くず	5 (7%)		5	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	0 (0%)			0										
動物系固形不要物														
ゴムくず	0 (0%)		0										0	
金属くず	1 (2%)		1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	23 (36%)		17	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0
鉱さい	1 (2%)		0	1									0	
がれき類	12 (18%)		12											
ばいじん	0 (0%)		0	0										
動物の死体														
その他	1 (2%)		1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0

*種類は、中間処理により変化した種類で集計したもの。

第6章 産業廃棄物の将来予測

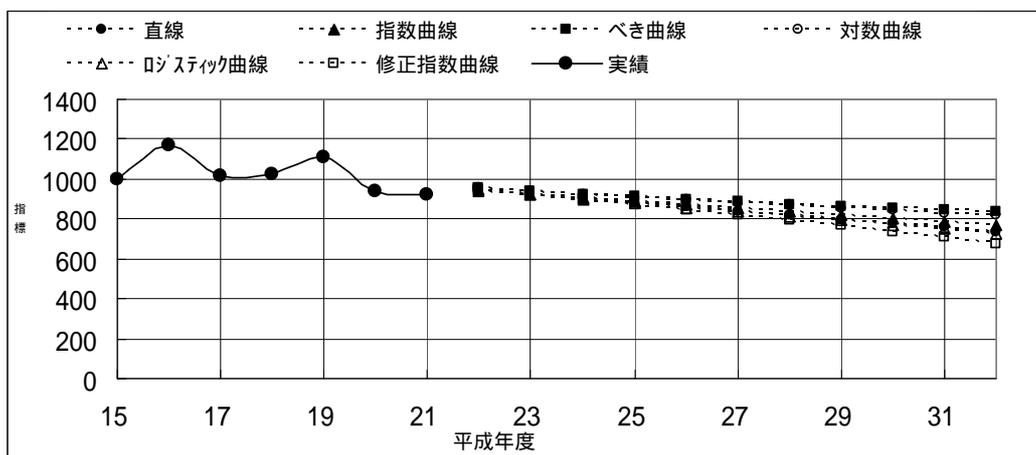
(1) 予測に関する基礎情報

産業廃棄物量の将来予測に当たっては、今後とも「大きな技術革新及び法律上の産業廃棄物の分類に変更がないものと仮定して、実態調査の過去からの排出量の実績の動向（トレンド）に対して数種類の回帰式（直線、指数曲線、べき曲線、対数曲線、ロジスティック曲線、修正指数曲線）を当てはめる時系列解析により行った。

本調査においては、ここ数年間の経済的な変動が大きかったことから将来の見込みが非常に難しいこと考慮し、現状との変化が最も少ない回帰式等を採用することとした。

建設業

建設業の排出量の実績値からトレンド予測し、最も変化が小さいべき曲線を採用した。



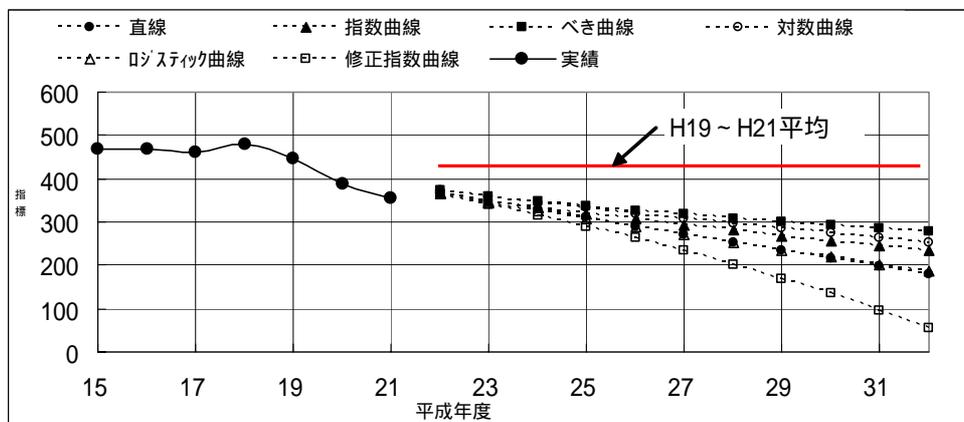
(単位:千t/年)

平成	実績		予測										相関係数	
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31		H32
直線	943	928	944	924	903	883	862	842	821	801	780	759	739	-0.50987
指数曲線	943	928	944	925	906	888	870	853	836	819	803	787	771	-0.52418
べき曲線	943	928	953	938	925	912	899	888	877	866	856	846	837	-0.50184
対数曲線	943	928	954	938	923	909	895	882	869	857	845	834	822	-0.48829
ロジスティック曲線	943	928	944	923	902	881	859	838	817	796	775	754	733	-0.50479
修正指数曲線	943	928	945	922	898	873	848	822	795	767	739	710	680	-0.49102

図 6.1 建設業の排出量の予測結果

製造業

製造業の排出量の実績値からトレンド予測した結果、平成 19 年度以降の減少が著しく、どの数式においても将来予測値の減少が大きいため、平成 19 年度から平成 21 年度の実績値の 3 年の平均で推移すると仮定した。



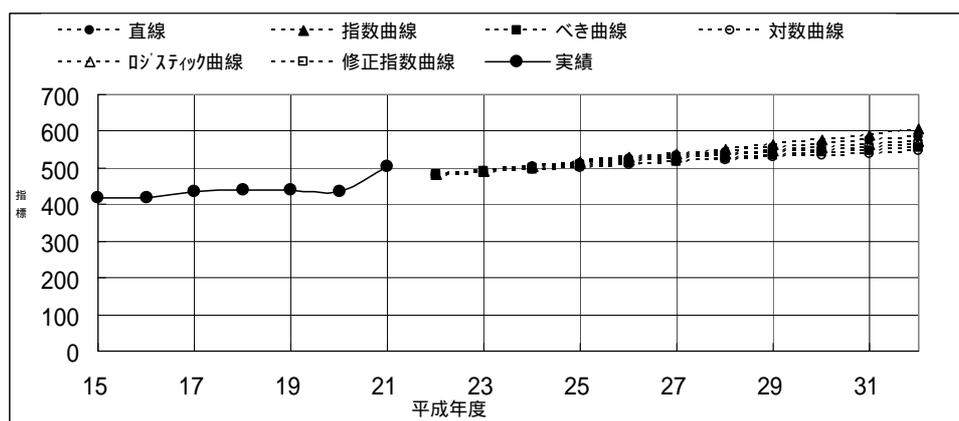
(単位:千t/年)

平成	実績		予測											相関係数
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
直線	389	356	364	346	328	309	291	272	254	235	217	199	180	-0.84586
指数曲線	389	356	365	349	334	320	306	293	280	268	256	245	235	-0.84289
べき曲線	389	356	372	359	348	337	327	318	309	301	293	286	279	-0.81846
対数曲線	389	356	372	358	344	331	319	307	295	284	273	262	252	-0.82195
ロジスティック曲線	389	356	364	345	326	307	288	270	253	235	219	203	188	-0.84643
修正指数曲線	389	356	363	340	316	290	263	233	202	169	134	96	56	-0.84791
H19~H21平均	389	356	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427	

図 6.2 製造業の排出量の予測結果

電気・水道業

電気・水道業の排出量の実績値からトレンド予測し、最も変化が小さい対数曲線を採用した。



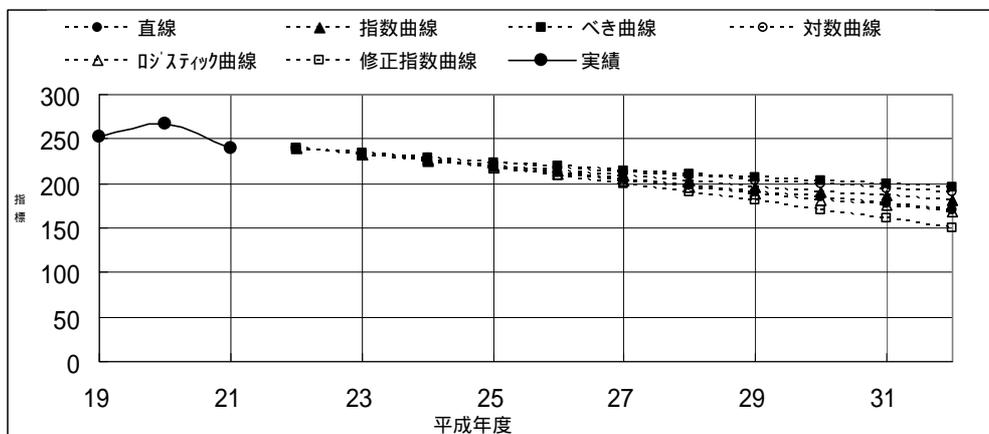
(単位:千t/年)

平成	実績		予測											相関係数
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
直線	435	502	482	492	503	513	523	533	544	554	564	574	585	0.78490
指数曲線	435	502	482	493	504	516	527	539	552	564	577	591	604	0.79572
べき曲線	435	502	478	486	494	502	510	518	526	533	540	547	554	0.78017
対数曲線	435	502	478	486	494	501	508	515	521	528	534	540	545	0.76834
ロジスティック曲線	435	502	482	492	502	511	521	530	539	547	556	564	572	0.77940
修正指数曲線	435	502	483	492	501	509	518	526	534	541	548	555	562	0.76860

図 6.3 電気・水道業の排出量の予測結果

その他の業種

その他の業種の排出量の実績値からトレンド予測し、最も変化が小さいべき曲線を採用した。



(単位:千t/年)

指標	実績		予測											相関係数
	平成	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
直線	268	240	240	234	227	220	214	207	200	194	187	180	174	-0.48164
指数曲線	268	240	240	234	227	221	215	210	204	199	193	188	183	-0.49538
べき曲線	268	240	241	235	230	225	221	216	212	208	205	201	198	-0.48278
対数曲線	268	240	241	235	230	225	219	215	210	205	201	197	192	-0.46893
ロジスティック曲線	268	240	240	234	227	220	213	206	199	192	185	178	171	-0.47171
修正指数曲線	268	240	241	234	226	219	211	202	193	184	175	165	154	-0.45783

図 6.4 その他の業種の排出量の予測結果

(2) 予測結果(排出量)

(1)の結果を業種別に整理すると表 6.1 のとおりであり、排出量は、平成 21 年度の 2,026 千トンに対して、平成 27 年度で 2,045 千トン、平成 32 年度で 2,005 千トンとなった。

また、種類別にみると表 6.2 のとおりである。

表 6.1 将来予測結果(業種別の排出量)

(単位:千t/年)

平成	実績		予測										
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
建設業	943	928	953	938	925	912	899	888	877	866	856	846	837
製造業	389	356	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427
電気・水道業	435	502	478	486	494	501	508	515	521	528	534	540	545
その他	268	240	241	235	230	225	221	216	212	208	205	201	198
合計	2,035	2,026	2,099	2,086	2,076	2,065	2,055	2,046	2,037	2,029	2,022	2,014	2,007

表 6.2 将来予測結果(種類別の排出量)

(単位:千t/年)

	実績	予測					
	平成21年度	平成22年度		平成27年度		平成32年度	
		H22/H20	H27/H20	H32/H20			
合計	2,026	2,098	1.04	2,045	1.01	2,005	0.99
燃え殻	10	12	1.16	11	1.14	11	1.12
汚泥	832	841	1.01	860	1.03	876	1.05
廃油	13	15	1.14	15	1.11	14	1.09
廃酸	22	24	1.09	23	1.03	22	0.98
廃アルカリ	12	13	1.14	13	1.11	13	1.08
廃プラスチック類	57	60	1.05	56	0.98	53	0.92
紙くず	2	2	1.05	2	0.99	2	0.95
木くず	56	57	1.03	54	0.96	50	0.90
繊維くず	1	1	1.03	1	0.96	0	0.90
動植物性残さ	12	15	1.20	15	1.20	15	1.20
動物系固形不要物	10	12	1.20	12	1.20	12	1.20
ゴムくず	0	0	1.01	0	0.91	0	0.83
金属くず	8	8	1.03	8	0.95	7	0.90
ガラス陶磁器くず	72	78	1.09	76	1.05	74	1.03
鋳さい	66	80	1.20	80	1.20	79	1.20
がれき類	814	837	1.03	780	0.96	735	0.90
ばいじん	25	30	1.20	30	1.20	30	1.20
動物の死体	5	5	1.00	4	0.90	4	0.82
その他	9	9	1.00	8	0.94	10	1.11

(3) 予測結果(処理量)

(2)で試算した排出量を基に、各業種別及び種類別における排出量に対する処理率が将来も現状(平成 21 年度)と同じであると仮定して処理処分量の将来予測を行った。

その結果は、表 6.3 のとおりであり、再生利用率及び最終処分率は減少傾向となり、減量化率は増加する結果となった。

表 6.3 将来予測結果(処理量)

(単位:千t/年)

	実績		予測					
	平成20年度		平成22年度		平成27年度		平成32年度	
排出量	2,026	100.0%	2,098	100.0%	2,045	100.0%	2,005	100.0%
再生利用量	1,216	60.0%	1,280	61.0%	1,206	59.0%	1,149	57.3%
減量化量	746	36.8%	754	35.9%	778	38.1%	799	39.9%
最終処分量	64	3.2%	64	3.1%	60	2.9%	57	2.8%

統計表 1 業種別・種類別の排出量

年次:2009

(単位:千t/年)

業種	種類	合計	燃え殻	汚泥	汚泥		廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不棄物	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	コンクリート固化物	動物のふん尿	動物の死体	その他	感染性廃棄物	混合廃棄物	その他
					有機性汚泥	無機性汚泥																						
合計		2,026	10	832	639	193	13	22	12	57	2	56	1	12	10	0	8	72	66	814	25			5	9	3	2	4
農林業		6	0	2	0	2		0		1							0	0						3	0	0		
農業		6	0	2	0	2		0		1							0	0						3	0	0		
林業																												
漁業		0	0				0			0								0							0			0
鉱業		95		95		95				0																		
建設業		928	0	10	1	9	1	0	0	15	2	56	1			0	5	23	0	814	0				3	0	1	2
製造業		356	8	160	132	28	9	10	8	13	0	0		12	10		1	34	66		25		0	0	0	0	0	0
食品		65	0	43	43	0	0	1	0	1				10	10		0	0			0	0		0	0	0	0	0
飲料・飼料		4	0	2	2	0	0	1	0	0				1			0	0					0	0	0	0	0	0
繊維		0		0	0		0	0		0							0	0										
衣服																												
木材		1	1	0	0	0				0		0					0	0							0			0
家具		0	0							0		0						0	0						0			0
パルプ・紙		57	3	49	49	0	0		0	4	0	0					0	0							0			0
出版・印刷		3	0	0	0	0	0	2	0	1	0						0	0							0			0
化学		14		8	8	0	5	0	0	1				0			0	0							0	0		0
石油・石炭																												
プラスチック		0		0	0					0								0										
ゴム		0		0	0			0		0																		
皮革																												
窯業・土石		47	0	15	0	15	0	0		0							0	32	0						0			0
鉄鋼		48	4	14	12	2	0	1	0	0							0	0	4		25				0			0
非鉄金属		0		0	0	0	0			0																		
金属		6		1	0	1	0	2	1	0							0	0	2									
一般機器		0		0	0	0	0	0	0	0							0	0							0			0
電気機器		4		1		1	2	1	0	1							0	0							0	0	0	0
情報通信機器		0		0	0	0				0							0	0										
電子部品		11		2	0	2	0	2	5	0							0	0	0						0	0	0	0
輸送機器		62		2		2	1	0	0	0							0	0	58						0	0		
精密機器		18		18	17	0	0	0	0	0							0	0										
その他製造業		14	0	4	1	3	1	1	1	4							0	2	1						0	0	0	0
電気・ガス・水道業		502		496	496	0	0	0	0	0							0	4							1		0	1
電気業		5		0	0	0	0	0		0							0	4							1		0	1
ガス業		0		0	0	0	0		0	0							0	0										
熱供給業																												
上水道業		7		7	6	0	0	0	0	0																		
工業用水道業																												
下水道業		490		490	490		0	0	0	0							0	0							0			0
情報通信業		0		0	0		0	0	0	0							0	0							0			0
運輸業		2		0	0	0	0	0	0	0							0	2							0	0	0	0
卸・小売業		19	0	5	4	1	0	0	0	12							0	1							0	0	0	0
金融・保険業		0		0	0	0		0	0	0							0	0							0	0	0	0
不動産業		0					0			0							0	0							0	0	0	0
飲食店・宿泊業		1	0	0	0	0	0			0							0	0							0	0	0	0
医療・福祉業		14	0	0	0	0	0	6	0	3							0	2							3	3	0	0
教育・学習支援業		1		1	0	0	0	0	0	0							0	0							0	0	0	0
複合サービス業		4	0	2	1	1	0	0	0	1							0	0						0	0	0	0	0
サービス業		45	1	11	3	7	3	6	1	12						0	2	6	0		0			2	1	0	1	0
公務		3	0	3	1	2	0	0	0	0							0	0							0	0	0	0
その他		49		46		46	0		2																0	0	0	0

統計表 2 種類別の発生及び処理量 (その1)

(単位:千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量						自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
				(D)	自己中間処理後量 (E)				(G)	自己未処理の処理内訳 (G1-G9)				(I) (E2+G2)		(処理先地域の内訳)			
					(E1)	自己最終処 分量 (E2)	委託処理量 (E3)	その他量 (E9)		(G1)	自己最終処 分量 (G2)	委託処理量 (G3)	その他量 (G9)			県内	県外		
																		(自己中間処理後の処理内訳)	
合計	2,112	86	2,026	829	147	110		37		1,197	46	1	1,150		1,187	1	1		
燃え殻	10		10							10			10		10				
汚泥	833	1	832	743	66	33		33		90	0	0	89		123	0	0		
有機性汚泥	734	0	734	728	64	33		31		6	0	0	6		38	0	0		
無機性汚泥	98	0	98	15	2	0		2		83	0		83		85				
廃油	15	2	13	0	0			0		13	0		13		13				
廃酸	22		22							22	1		22		22				
廃アルカリ	12		12							12			12		12				
廃プラスチック類	61	4	57	2	2	2		0		55	9	0	46		46	0	0		
紙くず	6	4	2	0	0	0				2			2		2				
木くず	72	16	56	3	3	1		2		53	0	0	53		54	0	0		
繊維くず	1		1	0	0	0				1			1		1				
動植物性残さ	28	16	12							12			12		12				
動物系固形不要物	10		10	9	4	4				0			0		0				
ゴムくず	0		0							0			0		0				
金属くず	40	32	8	0	0	0				8	1	0	7		7	0	0		
ガラス陶磁器くず	75	3	72	3	3	1		2		69	1	0	68		69	0	0		
鉱さい	66		66							66	34	0	32		33	0	0		
がれき類	818	3	814	67	67	67				748		0	747		748	0	0		
ばいじん	25		25							25			25		25				
コンクリート固化物																			
家畜ふん尿																			
家畜の死体	5		5	0	0	0				5			5		5				
その他産業廃棄物	14	5	9	2	2	2				7			7		7				
感染性廃棄物	3		3							3			3		3				
混合廃棄物等	11	5	6	2	2	2				4			4		4				

統計表 2 種類別の発生及び処理量（その2）

(単位:千t/年)

区分 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳									再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	その他量 (J) (E9+G9)	減量化量 (T)	資源化量 (S) (B+R)		
		委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量									
		(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)								
			県内	県外		県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)							
																事業者 (Q1)	処理業者 (Q3)
合計	1,186	40	40	0	1,146	1,085	61	1,083	1,060	23	1,216	64	1	63		746	1,302
燃え殻	10	1	1		9	9	0	9	9	0	9	1		1		0	9
汚泥	122	5	5		118	103	15	92	89	3	123	7	0	7		702	123
有機性汚泥	37	0	0		37	34	4	27	27	0	61	0	0	0		673	61
無機性汚泥	85	5	5		81	69	12	65	62	2	62	7		7		29	62
廃油	13				13	4	9	6	6	0	6	0		0		7	9
廃酸	22				22	17	5	18	18	0	18	0		0		4	18
廃アルカリ	12				12	4	8	6	6	0	6	0		0		5	6
廃プラスチック類	46	4	4	0	42	35	7	36	29	7	41	11	0	11		6	45
紙くず	2				2	2	0	1	0	0	0	0		0		1	5
木くず	54				54	54	1	47	41	6	43	6	0	6		7	59
繊維くず	1				1	1	0	0	0	0	0	0		0		0	0
動植物性残さ	12				12	11	1	11	11	0	11	0		0		1	27
動物系固形不要物	0				0	0		0	0		4					6	4
ゴムくず	0	0	0									0		0			
金属くず	7	1	1		7	5	2	7	6	1	7	1	0	1		0	39
ガラス陶磁器くず	69	21	21	0	49	48	1	49	46	3	49	23	0	23			52
鉱さい	32	1	1		32	32		32	32		65	1	0	1		0	65
がれき類	747	9	8	0	739	735	3	739	736	3	803	12	0	11		0	806
ばいじん	25	0	0		25	25	0	25	25		25	0		0		0	25
コンクリート固化物																	
家畜ふん尿																	
家畜の死体	5				5	0	4	1	1		1					4	1
その他産業廃棄物	7	0	0		7	1	5	4	3	1	5	1		1		3	10
感染性廃棄物	3				3	1	2	0	0	0	0	0		0		2	0
混合廃棄物等	4	0	0		4	0	4	4	3	1	5	1		1		0	9

参考資料（調査に関する基本的事項）

(1)調査対象年度

平成 21 年度（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(2)調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号。以下「廃棄物処理法」という。）」及び同法施行令に定める以下の産業廃棄物とした。

調査対象廃棄物（ ）内は、細区分。					
燃え殻	汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）	廃油	廃酸	廃アルカリ	
廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形
不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕	鉦さい	がれき類
	動物のふん尿	動物の死体	産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「コンクリート固化物」と略した〕		

特別管理産業廃棄物については、以下に示す区分とした。

特別管理産業廃棄物			
廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）	廃酸（pHが2.0以下の廃酸）		
廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）	感染性廃棄物	廃石綿等	特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

また、本調査においては、廃棄物の取り扱いを下記のとおりとした。

- (ア)廃棄物処理法上、廃棄物とされない有償物で、今後の社会情勢の変化によっては産業廃棄物に該当する可能性のあるもの(具体的には、金属スクラップなど)は、今回の調査対象に含めた。
- (イ)紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、「廃棄物処理法」で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。
- (ウ)酸性又はアルカリ性を呈する排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。
- (エ)廃棄物を自己焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

(3)業種区分

調査対象業種は、日本標準産業分類(平成14年3月改訂、総務庁)に記載されている区分を基本にして、表1に示す業種とした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表1 調査対象業種

日本標準産業分類	略称
農業	農業
漁業	漁業
林業	林業
鉱業	鉱業
建設業	建設業
製造業 食料品製造業 飲料・飼料・たばこ製造業 繊維工業(衣服・その他の繊維製品を除く) 衣服・その他の繊維製品製造業 木材・木製品製造業(家具を除く) 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連産業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめしがわ・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 一般機械器具製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 電子部品・デバイス製造業 輸送機械器具製造業 精密機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 衣服 木材 家具 パルプ・紙 印刷・同関連 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 一般機器 電気機器 情報通信機器 電子部品 輸送機器 精密機器 その他
電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業	運輸業
卸・小売業	卸・小売業
金融・保険業	金融・保険業
不動産業	不動産業
飲食店・宿泊業	飲食店・宿泊業
医療・福祉	医療・福祉
教育、学習支援業	教育、学習支援業
複合サービス業	複合サービス業
サービス業	サービス業
公務	公務
上記以外	その他

(4)発生量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図1に示す発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により、とりまとめた。なお、図1に示した各項目の用語の定義は、表2に示すとおりである。

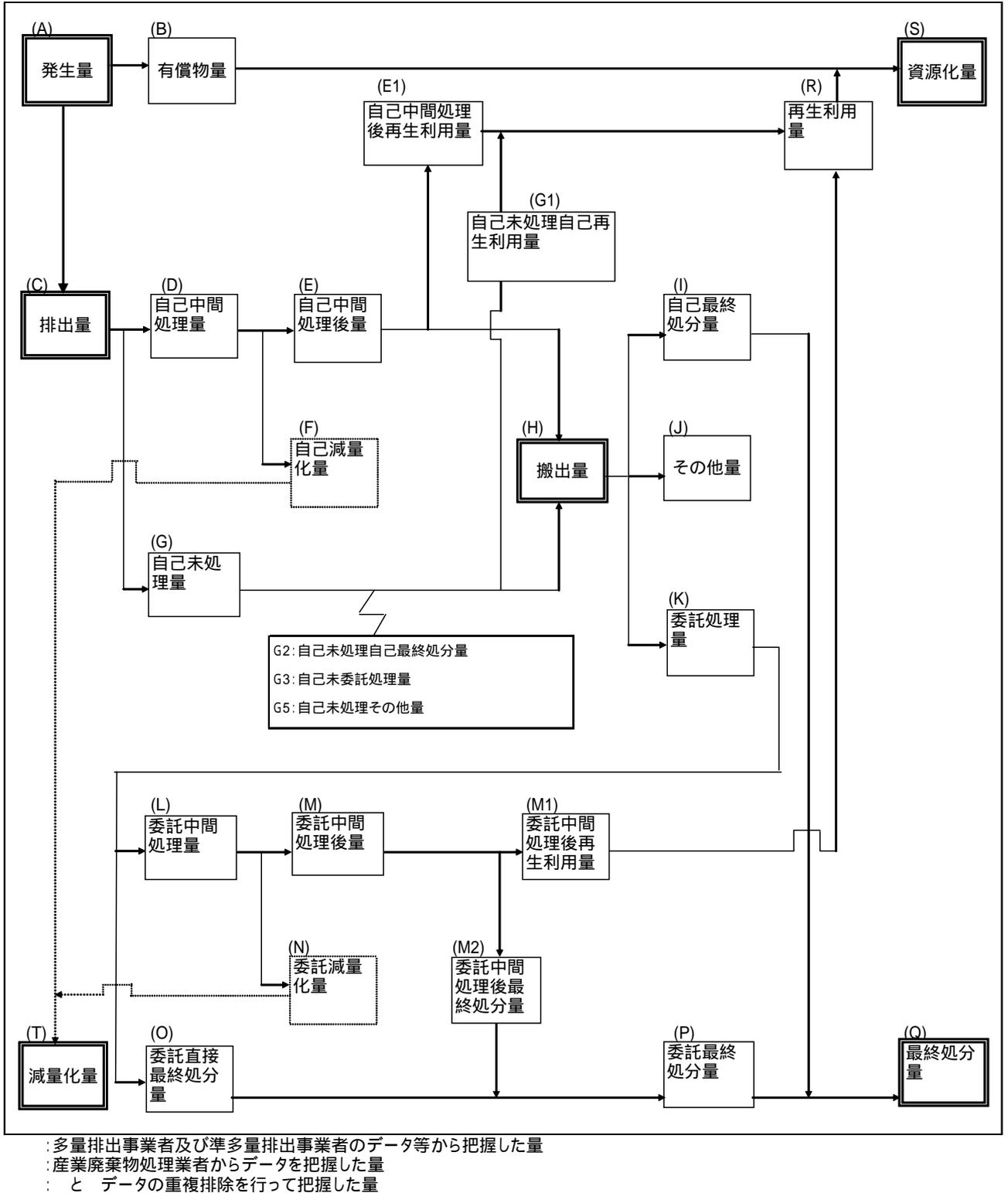


図1 発生量及び処理状況の流れ図

表2 発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

記号	項目	定義
(A)	発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B)	有償物量	(A)発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C)	排出量	(A)発生量のうち、(B)有償物量を除いた量
(D)	自己中間処理量	(C)排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G)	自己未処理量	(C)排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(E)	自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(F)	自己減量化量	(D)自己中間処理量から(E)自己中間処理後量を差し引いた量
(G1)	自己未処理自己再生利用量	(G)自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2)	自己未処理自己最終処分量	(I)自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3)	自己未処理委託処理量	(K)委託処理量のうち、自己未処理で委託処理された量
(G5)	自己未処理その他量	(J)その他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E1)	自己中間処理後再生利用量	(E)自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(H)	搬出量	(I)自己最終処分、(J)その他、(K)委託処理量の合計
(I)	自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J)	その他量	保管されている量、又は、それ以外の量
(K)	委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L)	委託中間処理量	(K)委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O)	委託直接最終処分量	(K)委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M)	委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(N)	委託減量化量	(L)委託中間処理量から(M)委託中間処理後量を差し引いた量
(M1)	委託中間処理後再生利用量	(M)委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2)	委託中間処理後最終処分量	(M)委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(P)	委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q)	最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R)	再生利用量	排出事業者又は、処理業者等で再生利用された量
(S)	資源化量	(B)有償物量と(R)再生利用量の合計
(T)	減量化量	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量

(5)調査対象区域

調査対象区域は岩手県全域とし、保健所の管轄地域等により、以下に示す9区分とした。

表3 地域区分

地域名	広域地域	構成市町村
盛岡地域	盛岡広域	盛岡市、八幡平市、岩手町、葛巻町、雫石町、紫波町、矢巾町、滝沢村
岩手中部地域	県南広域	北上市、花巻市、遠野市、西和賀町
胆江地域		奥州市、金ヶ崎町
両磐地域		一関市、平泉町、藤沢町
気仙地域	沿岸広域	大船渡市、陸前高田市、住田町
釜石地域		釜石市、大槌町
宮古地域		宮古市、岩泉町、山田町、川井村、田野畑村
久慈地域	県北広域	久慈市、洋野町、野田村、普代村
二戸地域		二戸市、一戸町、軽米町、九戸村

(6)単位と数値に関する処理

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

本報告書に記載されている千トン表示及び構成比(%)の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。

本報告書中の表中の空欄は、推計上の該当値がないもの、「0」表示は、500t/年未満であることを示している。

